

## 「都市情報の分析」シラバス火曜 6・7 限

トータルコーディネーター：羽藤英二・貞広幸雄

### □ 講義の目的

都市交通分析や景観解析へと役立てるためのシミュレーション技術や、さまざまな都市情報システムの基礎知識とその理論を身につける。

□ 講義日程 4/6, 4/13, 4/20, 4/27 (6・7 限)

### □ 講義項目

#### 4/6 「都市情報システムとは何か」

情報システムの基礎を日本で最初のサーチエンジンの開発者である南山大学の河野氏から解説いただき、都市における情報サービスをどのようにして設計すべきかについて、学生を交えて提案・討議を行う。

1. 都市空間情報概論 (南山大学 河野浩之) 1830-1950
2. 都市情報サービス課題と討議 (東京大学 羽藤英二) 1950-2120

#### 4/13 「シミュレーションをまちづくりに生かす」

まちづくりの中で活用されつつあるシミュレーション技術について、大規模小売店の出店や観光社会実験の現場で用いられている交通シミュレーションと、空間設計の現場で用いられている空間構成シミュレーションを題材に、埼玉大学の坂本氏とスペースシンタックス社の高松氏から概説いただく。シミュレーション技術の利用シーンとまちづくりへの活用について討議を行いたい。

3. まちづくりのための交通シミュレーションと社会実験 (埼玉大学 坂本邦宏) 1830-1950
4. 空間構成シミュレーション (スペースシンタックスジャパン 高松 誠治) 2000-2120

#### ■ 4/20 「対話を科学する、交通を科学する」

ワークショップをどのように可視化すべきか、都市の中の交通行動をどのように科学的に理解しサービスを設計すべきか、具体的な事例を交えながら、その最先端を、山梨大学佐々木氏、日産自動車の原氏から概説していただく。

5. ワークショップの科学 (山梨大学 佐々木邦明) 1830-1950
6. モビリティサービスの今 (日産自動車 原加代子) 2000-2120

#### ■ 4/27 「まちなみを読む、サービスを提案する」

「京都」を題材にとり、景域のなりたちとその見方について第一人者である京都大学の川

崎氏から講義をいただき，学生が関心ある都市情報サービスについての討議を全体で行う．

7．景観分析の基礎理論（京都大学 川崎雅史） 1830-1950

8．情報サービスに関する討議（東京大学 羽藤英二） 2000-2120

理解すべき事項

シミュレーション技術の基礎知識を身につける．

景観解析の調査・分析手法を身につける．

さまざまな都市情報システムの基礎的知識を身につける．

都市情報サービスの実装の手法を身につける．

成績評価

各教官へ提出するレポートによって行う．